


社協 鶴二だより

(川崎・三ツ池・各務原町)



第57号
平成27年6月

発行 各務原市社会福祉協議会
編集 鶴沼第二地区社会福祉協議会
広報委員会

我々を取りまく社会福祉制度が変わる平成二十七年を迎えました。

介護・年金・子育て支援・医療の分野で、痛みを強いる改革が続々。

医療と介護は負担が増える。年金は給付が減る。医療では世代に関係なく受診の負担が増える。一口で言うと「増える負担減る給付」という社会保障制度改革元年です。

そこで①今までの給付される福祉から、生活課題は地域解決する福祉を目指す。②縦より横繋がりネットワークが重要との観点から昨年度までの社協支部から、今年度は地区社協へと名称変更しました。

今年度の活動方針は①生活課

平成二十七年の活動方針

鶴二地区社協
会長 伊藤 浩



ボランティアハウス お茶の間 誕生

平成二十六年十二月

各務原町に、新しくボランティアハウス「お茶の間」が誕生しました。

鶴二地区六番目の誕生です。

「人との触れ合い(コミュニケーション)を大切にしたい」と思い、木のぬくもりと、温かい日の光が差し込む場所に、お友達と集まれる場所をつくりたい」という思いで開設しました。

現在会員は、約二五名・支えていただくボランティアの方は、五名程。

活動内容

- 一、開催は毎月第一・第三金曜日(祝日は休み)
- 二、開催時間 午前十時～十二時
- 三、場所 プラザ&メゾン内 各務原町 九丁目一九五番地
- 四、ドリンク代 一人 二〇〇円
- 五、対象者 地域の高齢者
- 六、お問い合わせ 電話三八四一一八〇

家から一歩でてみませんか？
近所の方と一緒にコーヒー・紅茶を飲みながら楽しい時間を過ごしませんか？
脳トレや、軽い体操をしてみませんか？

題を地域で解決に取り組み、年代・性別の垣根のない共助。②ささえて、ささられてが意味する「私はこれができますが、これはして欲しい」と言える環境作り。③自助を基本としつつ、共助が自助を支える。名実ともに新名称地区社協にふさわしい方針を目指して各事業を推進してまいります。

より多くの方々のご参加をお待ちしています。

平成二十六年は、関係各位のご尽力で各事業を終えることができました。今年度も倍旧のご支援をお願い申し上げます。



健康体操



楽しいお話

平成27年度 事業計画

鶴二地区社協 (三ツ池・各務原・川崎区)

平成27年4月作成

年・月	日	曜	事業	内容	備考(事業区分)
H27.	4月	18日	*事務局会議 18:00~ 鶴二地区社協(事)	・新メンバー顔合せ、 ・年間計画等、総会に向け打合せ	
	5月	17日	・鶴二地区総会 10:00 コミュニティ炉畑 *事務局会議 11:30~	・方針、事業・予算計画発表 「鶴二だより、近隣ケア研修会」他審議	
	6月		・鶴二だより No.57号発行	・6月1日付発行	機関紙の発行
	7月	12日	・近隣ケア研修会13:30~コミュニティ炉畑 *事務局会議 15:00~	・存在意義、活動目的、活動方法 他 ・「福祉座談会」他審議	近隣ケア研修会
	8月	9日	・福祉座談会 10:00~ *事務局会議 14:00~ 鶴二地区社協(事)	・地区の福祉活動 (各区個別で開催) 「生きがいづくり講座」他審議	福祉座談会
	9月	13日	・生きがいづくり講座 10:00~ コミュニティ炉畑 *事務局会議 13:00~ 鶴二地区社協(事)	・未定 ・未定 「子どもフェスティバル」他審議	福祉の人財発掘事業
	10月	11日	・子どもフェスティバル 10:00~ 鶴二小 体育館 (鶴二小校下青少年育成市民会議協賛) *事務局会議 13:00~	・体験講座 ・中央中学吹奏楽演奏 ・三世代ふれあい交流会について	ふれあい交流事業
	11月	15日	・三世代ふれあい交流会 10:00 鶴二小 体育館 *事務局会議 12:00~	・児童合唱団「かかみのキッス」 ・各務原太鼓保存会 ・「年賀状送付、クリスマス会」他審議	ふれあい交流事業
	12月	6日	・クリスマス会10:00~ コミュニティ炉畑 *事務局会議 12:00~	・岐阜各務野高校福祉科のパフォーマンス ・シャンソン 「ジュジュ」 ・「友愛訪問、鶴二だより」他審議	歳末助合い特別事業
H28.	1月	金	・高齢者への年賀状送付 ・友愛訪問	・鶴二小・中央小児童 ⇒ 高齢者へ年賀状で激励 ・準寝と寝たきり対象者に粗品配布	友愛訪問事業として実施 友愛訪問事業として実施
	2月		・鶴二だより No.58号発行	・2月1日付発行	機関紙の発行
	3月	6日	*事務局会議 14:00~鶴二地区社協(事)	・期末反省、来期への展望	
	4月	3日	・H27年度会計監査10:00 鶴二地区社協(事)	・監査他、新年度への引き継ぎ事項審議	

注記:内容について変更する場合がありますので、予めご了承願います。

ボランティアハウス活動状況(定例会)	協賛・支援行事および団体
あじさい ⇒ 毎月1回 <第1火曜日、2回目不定期>	夏祭り協賛 ⇒ 川崎区 三ツ池区 各務原区
チャーム ⇒ 毎月1回 <第4金曜日>	市民運動会協賛 ⇒ 中央小校下・鶴二小校下
20日の会 ⇒ 毎月2回 <10、20日>	クローケーゴルフ ⇒ シニアクラブ
カフェ近隣 ⇒ 毎月1回 <10日>	青少年育成支援 ⇒ 中央小校下・鶴二小校下
☆お茶の間 ⇒ 毎月2回 <第1、3金曜日>	
将棋サロン ⇒ 毎月2回 <第2第4土曜日>	

☆印 :平成26年12月発足

平成27年度 予算

鶴二地区社協

収入の部

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 予算 (Budget). Rows include 1 交付金 (683,000), 2 メニュー事業助成金 (588,000), 3 ボランティアハウス助成金 (336,000), 4 利息 (125), 5 地区活動運営費助成金 (30,000), 6 雑収入 (6,000), 7 前年度繰越金 (819,384), Total (2,462,509).

支出の部

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 予算 (Budget). Rows include 1 メニュー事業費 (800,000), 2 ボランティアハウス助成金 (426,000), 3 事務費 (70,000), 4 共通実施事業費 (124,800), 5 その他の助成金 (121,000), 6 雑費 (60,000), 7 地区拠点占有使用料 (30,000), 8 支出小計 (1,631,800), 9 繰越金 (830,709), Total (2,462,509).

地区社協役員

Table with 3 columns: 役職 (Position), 氏名 (Name), 所属 (Affiliation). Row: 常任理事 岡部 秀夫 市議会議員



会長 伊藤 浩 26年度鶴二自治会連合会長

副会長 塚本 国男 鶴二自治会連合会長/各務原区長



副会長 古川 和明 三ツ池区長



副会長 石黒 雅信 川崎区長



総務 池田 潔 各務原2丁目自治会長



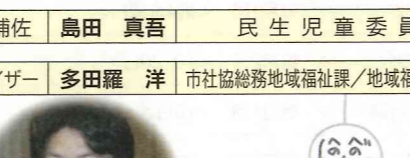
会計 伊藤 清子 民生児童委員



書記 佐藤 雅則 三ツ池東第3自治会長



総務補佐 櫻井 正彦 三ツ池東シニアクラブ会長



総務補佐 島田 真吾 民生児童委員



アドバイザー 多田 羅 洋 市社協総務地域福祉課/地域福祉係主任



新しい地区社協の旗

名称の改正

来賓挨拶・会長挨拶・活動方針・二十六年行事事績報告・会計報告を行い、議案である二十七年の行事計画案・予算案及び会則の改正案を説明した。 (三ページ・四ページ参照)

鶴二地区総会 平成二十七年五月十七日. Photo of 武藤容治 (Murohō Yūji), Prefectural Assembly Member, speaking at a podium.

特別予算

この主旨をふまえて、どのように事業を推進していくかは今後の議論となりますが、今年度の福祉座談会は各地区(各務原・三ツ池・川崎)に分かれて開催する予定です。

高齢者向け遊具

麻雀等、高齢者遊具を購入し、三ツ池第一公民館の二階地区社協事務所を開放して楽しんでいただくこととしました。麻雀は頭と指を使う脳トレ効果が高いことで注目されている。詳しくは、後日案内予定。

総会参加団体

各務原市社会福祉協議会



足立 健次郎

福祉推進校・顧問

岐阜各務野高等学校



臼井 俊裕校長

中央中学校



上松 英隆校長

鶴沼第二小学校



水野 智子校長

中央小学校



上野 毅校長

鶴沼西保育所

徳田美智子園長

- 民生児童委員
○ ボランティアハウス
○ 自治会長
○ 地域包括支援センター
○ 体育振興会
○ シニアクラブ
○ 近隣ケアグループ
○ 中央中学PTA
○ 鶴二小PTA
○ 中央小PTA
○ 鶴二小子ども会
○ 中央小子ども会

亀のツツヤキ

NHK朝の連続ドラマ「まれ」、並行して放映されている「あまちゃん」。この二つ共通部分が多い。主人公は若い女性。テーマは夢・家族。舞台は地方・海。なによりも共通するのは、よその家族のことにやたら首をつっこんでくる隣人。そのためにちよつとした問題が大騒動に発展したり、時には、よその家族のトラブルに首をつっこみ過ぎて、自分の家族に飛び火する有様まで。実際に自分のまわりに、こんな隣人がいたらどうか。正直うっとうしい気がしなくもない。しかし、このような環境で生活すると、高齢者対策・子育ての問題などは消えて無くなりそうな気がする。どの家庭が、どのような人がいて、どのような問題をかかえているかを知ったうえで家族どうしが付き合ひ、ささえて、ささえられる環境ができる。ドラマほどの環境は望むべきもないが、少なくとも年に二・三度は向こう三軒両隣、花見会・パーベキュー会等の家族どうしの集まりがあってもいい。